

在宅医療連携拠点事業成果報告会

熊本市

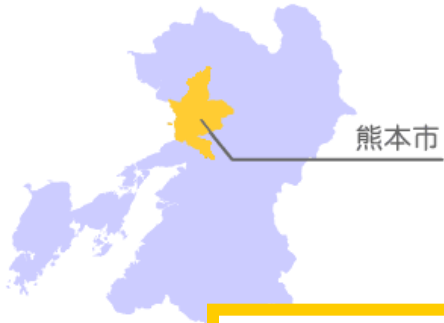
平成25年3月23日



熊本市
Kumamoto City



熊本市



熊本市

- 熊本市は九州の中央、熊本県の西北部に位置
- 平成24年4月に20番目の政令指定都市



平成25年1月 人口	
総数	733,379
65歳以上	160,074
高齢化率	21.8%



くまもと医療都市2012グランドデザイン

- くまもと医療都市ネットワーク懇話会（座長：市長）

高い医療水準や救急医療体制を活かし、医療関係者による「くまもと医療都市ネットワーク懇話会」を設置し先端医療都市としての魅力向上や医療サービスネットワークの構築を図る。

- 「くまもと医療都市2012グランドデザイン」

（熊本市がこれから目指す10年後の医療の姿）

高齢者や障がい者などが住みなれた地域で
いきいきと暮らせる都市

在宅医療・介護に関する取り組み

① くまもと在宅医療・介護ネットワーク検討会

② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

1.在宅医療相談窓口

- ・ 患者、家族からの在宅医療に関する悩みや不安に関する相談への対応
- ・ 医療・介護関係者からの地域の医療・介護資源に関する問合せへの対応 等

2. 情報収集・発信

- ・ 医療資源マップ、介護資源マップの作成と情報発信 等

3. 多職種連携の支援

- ・ 多職種連携に関する研修会の開催（1月18日、3月14日） → 来年度は区毎のエリアへ
- ・ 個別職種への研修 等

4. 市民啓発

- ・ 在宅医療に関する公開講座の開催 等

① くまもと在宅医療・介護ネットワーク検討会

委員 8名

(医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション連絡協議会、居宅介護支援事業所協議会
地域包括支援センター、在宅療養支援診療所、急性期病院連携室)

○多職種連携に関する課題

専門職間の連携(相互理解)

- 医師とケアマネの連携
- 病院スタッフの在宅への理解不足
- 在宅医療提供体制が脆弱

情報不足

- 患者の状態悪化時などの情報共有とタイムリーな連携
- 在宅医療資源の情報(薬局、歯科など)
- 患者(利用者)の在宅医療や介護に対する理解不足

人材不足

急変時の対応

② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

1. 在宅医療相談窓口

- 主な相談内容

在宅医療に関する問合せや相談

地域の医療資源等に関する問合せ など

医療処置（点滴・吸引・胃ろうなど）
を受けながら、自宅で療養するこ
とはできますか？

入院中だけど、自宅
に帰りたい・・・

薬の管理がうまくで
きないのですが・・・

自宅で看取りたいのですが、家
族の力になってくれるお医者さ
んはいませんか

② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

2. 情報収集・発信



【在宅医療資源調査】

調査期間: 平成24年8月

対象: 病院、診療所

回答率: 病院 87%

診療所 55.2%

調査項目:

在宅医療の取り組み状況(訪問診療、往診、在宅病/診の届出、在宅で対応できる処置)など

歯科診療所および薬局については、各団体が把握している情報を入手

マッピングを行い、「在宅医療相談窓口」の基礎資料として活用

② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

3 在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

- 目的

多職種に及ぶ在宅医療・介護関係者が一堂に会し、「顔の見える関係」を構築することにより、連携強化を図る。

- 開催日時

平成25年1月18日(金) 19:00～21:00

平成25年3月14日(木) 19:00～21:00

- 内容

講演「実践しよう！多職種連携による在宅支援」

名刺交換

グループワーク

～多職種連携がうまくいった点、うまくいかなかった点～

～多職種連携の課題解決にむけて～

- 今後の展開

全体研修会

第1回 1月18日

(内容)

事例紹介

グループワーク

～多職種連携がうまくいった点、うまくいかなかった点～

第2回 3月14日

(内容)

グループワーク

～多職種連携の課題解決にむけて～

区ごとに開催

(H25年度～)

中央区

東区

西区

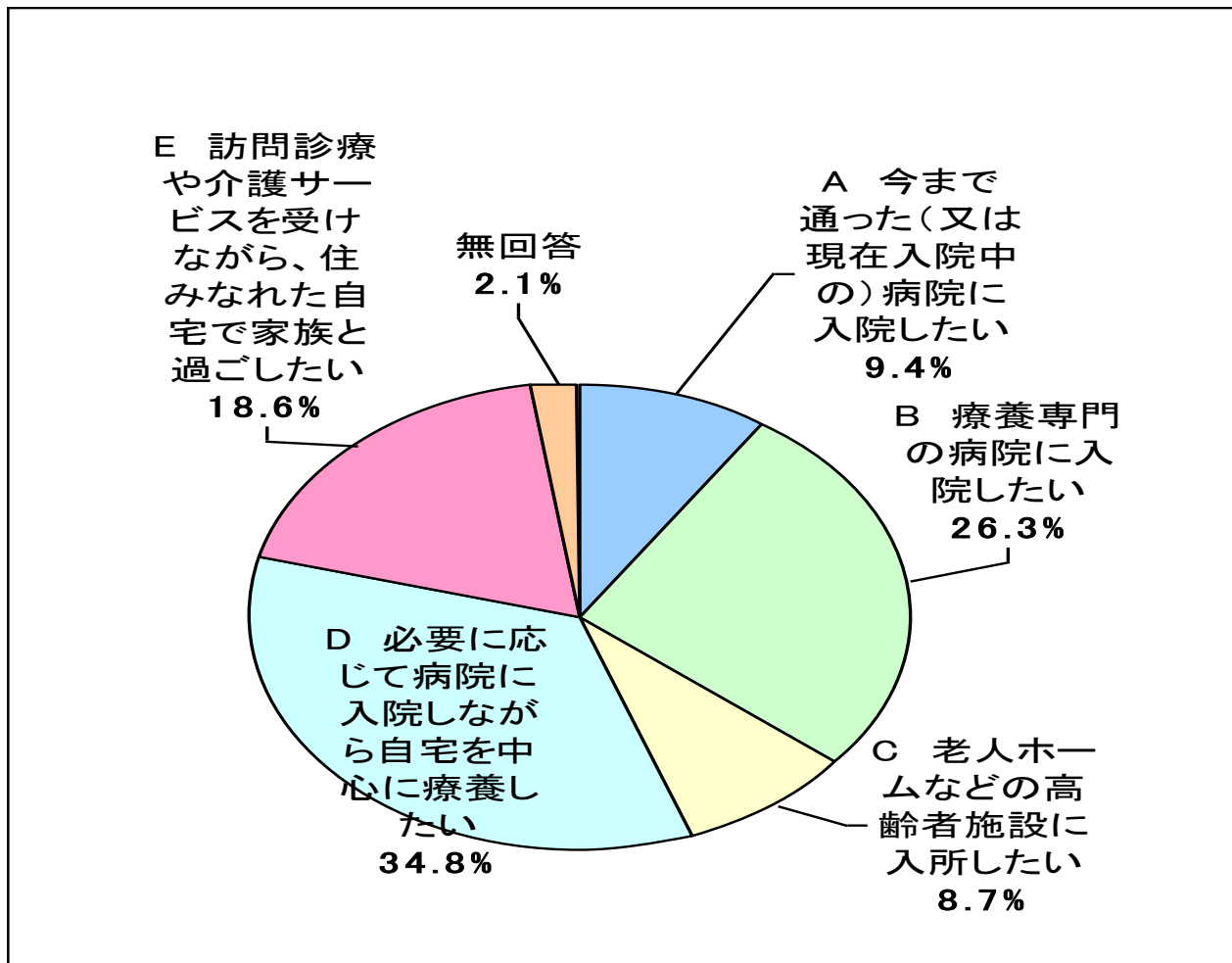
南区

北区

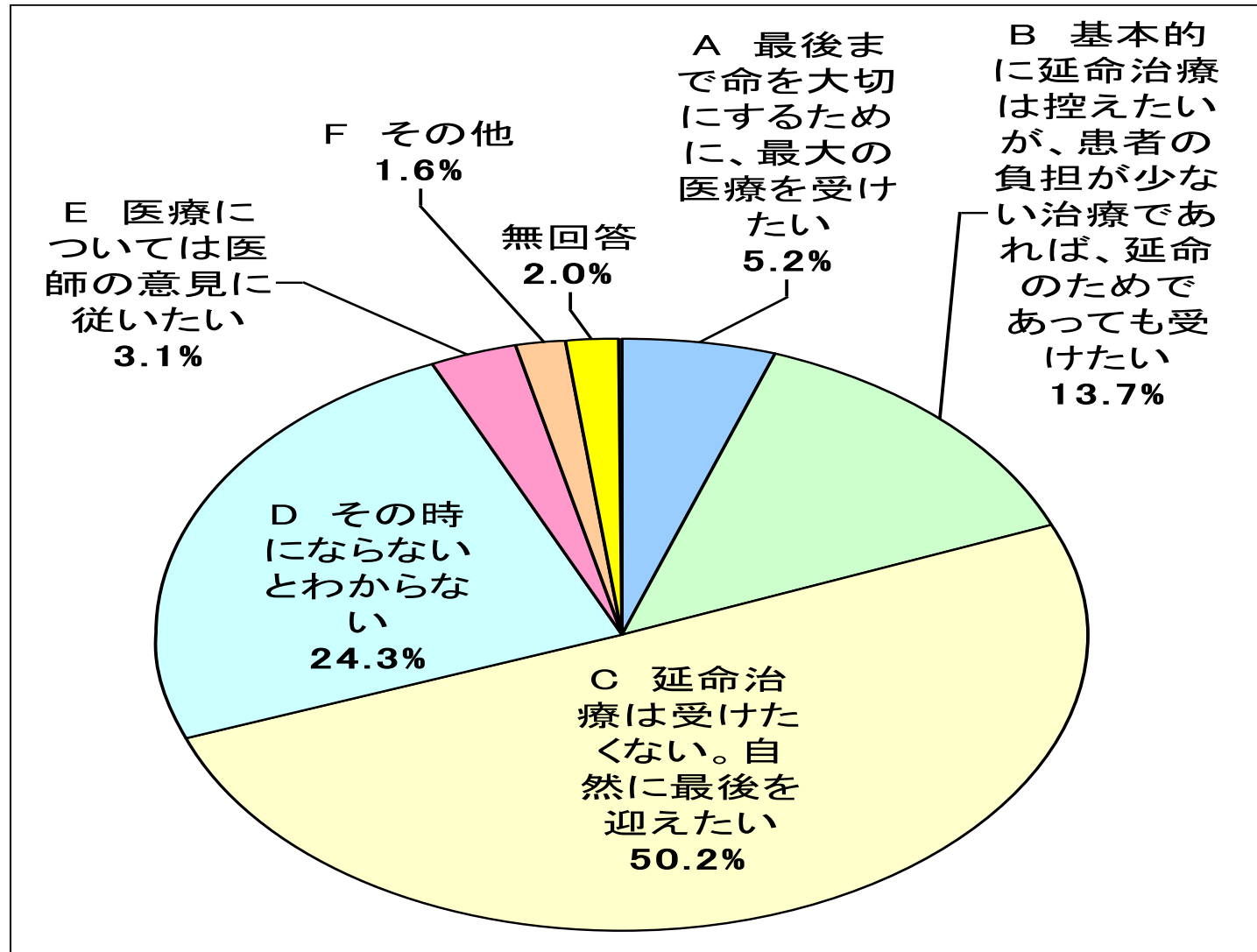
② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

4. 市民啓発(市民アンケート)

長期療養が必要になった時の療養場所



終末期にどのような医療を受けたいですか



② くまもと在宅医療・ケア支援センターの設置

4. 市民啓発

○ 市政テレビ広報番組 「興味しんしん家族」

- ・ タイトル「在宅医療を知っていますか？」
- ・ 放送日

平成24年12月19日(水)

午後7時53分～8時

- ・ 内 容

在宅医、家族からのコメント

訪問診療の様子



○ ポスター、リーフレット等の作成

今後の展開

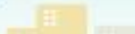
多職種連携の支援

- 病院-在宅連携を目指す
まずは急性期病院へアプローチ
- 多職種連携研修会を継続して開催する

市民啓発



熊本市
Kumamoto City



ま と め

- 行政は在宅医療を提供する主体ではない。
- 在宅医療の多職種連携において、行政がコーディネーター的役割を果たしていくことが求められている。
- あくまで脇役として、提供主体である多職種の円滑な連携を支援する。
- 行政も積極的に連携を図っていく必要がある。

